

NEWS RELEASE

2022年8月5日
日本板硝子株式会社

マレーシアで太陽電池パネル用ガラスの生産設備を新設

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：森 重樹、以下「NSG」）は、マレーシアにおいて、太陽電池パネル用透明導電膜（TCO: transparent conductive oxide）付きガラス製造設備の新設投資を計画していますのでお知らせします。

この計画は、マレーシア国内を中心に建築用ガラス、自動車用ガラスの製造・販売を行っている当社グループ拠点であるマレーシアン・シートグラス社（Malaysian Sheet Glass SDN BHD）のジョホールバル工場にあるフロート窯でオンラインコーティング設備を新設するもので、稼働後に太陽電池パネル用 TCO ガラスを生産します。生産開始は 2024 年 3 月期第 4 四半期を予定しています。（本投資は、製品販売契約の締結と政府による認可、インセンティブの提供が条件となります。）

本投資は、薄膜太陽光パネルの世界的メーカーであり、当社と長期間にわたる協力関係をもつ米国ファーストソーラー社の生産拡張方針に沿って進められるものです。同社はアジアにおいて、既存のベトナム、マレーシア拠点に加え、インドでの生産拠点も建設中です。（2023 年下期稼働予定）

当社グループでは、戦略的パートナーであるファーストソーラー社をはじめとする太陽光パネルの世界的な需要増大に対応するため、2020 年 1 月にベトナムで 2 窯目の太陽電池パネル用ガラスの専用フロートラインを稼働させたほか、同年 11 月には、米国オハイオ州ラッキーでも新工場を稼働させており、製品はいずれもファーストソーラー社に供給されています。

NSG グループは、中期経営計画「リバイバル計画 24（RP24）」に掲げる施策の一つとして、「高付加価値事業の拡大」を進めており、当社独自のオンラインコーティング技術をベースとした太陽電池パネル用ガラスの拡大は、この取り組みの一環です。今後も中期ビジョン「高付加価値の『ガラス製品とサービス』で社会に貢献するグローバル・ガラスメーカーとなる」の実現に向けた努力を続けてまいります。

以上

NSG グループ（日本板硝子株式会社およびそのグループ会社）について

NSG グループは、建築および自動車用ガラスとクリエイティブ・テクノロジー分野で事業を展開する世界最大のガラスメーカーのひとつです。

建築用ガラス事業は、各種建築用ガラス、太陽電池パネル用ガラス等を製造・販売しています。

自動車用ガラス事業は、新車用(OE)ガラスや補修用(AGR)ガラスの分野で事業を展開しています。

クリエイティブ・テクノロジー事業の主要製品は、プリンターやスキャナーに用いられるレンズや、タイミングベルトの補強材であるガラスコードや ガラスフレークを中心とする特殊ガラス繊維です。<https://www.nsg.co.jp>



ファーストソーラー社は、先進的なモジュールシステム技術による総合太陽光発電システムのリーダーです。当社の統合的な発電所ソリューションは、今日の化石燃料発電に対する代案を提供します。原材料の調達から使用済みモジュールのリサイクルに至るまで、ファーストソーラーのエネルギーシステムは環境の保全と向上に役立っています。ファーストソーラーの詳細についてはこちらをご参照ください。

<http://www.firstsolar.com>

<お問い合わせ>

(報道関係等) 広報部 Tel : 03-5443-0100